

小林まり（こばやし・まり）

稗田慎太郎（ひえだ・しんたろう）

山下唯（やました・ゆい）

和田莉絵（わだ・りえ）

久山町立けやきの森幼稚園　にて

インタビュー — 1



ちようど良い町

「ずっと久山にお住まいなんですか？」

😊 そうですね、半年間だけちよつと福岡市の方に住んで、あとはずっと久山に住んでいます。

😊 わたしは、18年目ぐらいになります。実家ごと引っ越してきたという感じです。もともといた場所は両親がここじゃないなってなって・・・。久山は広いというか隣の家との距離感もちようど良いしっていうことで。

😊 えっと、6年目ぐらいだと思います。主人の実家が久山にあるんですけど、もともとは久山以外の土地もみてい



たんですね。でも、ここに来てみたらすごい雰囲気良かったですね。それに、健康診断がすごいよ、これから年を重ねるのでやっぱり健康は大事だから良いよっていうのを聞いて。暮らしてからは、欠かさず受診しています。良いですよ。ちょっと引くかかるのが何回かあったりして、でもまあ結局それで再受診すれば異常なしで帰ってきてはいるんですけど、ちょっとしたことかもしれません。良いなと思ってます。



わたしは両親が久山で借家を借りていて、やっと久山で家を買ったので秋に久山町のなかで引っ越す予定です。久山の土地、今、高いらしいです。だから、久山に住み続けたいけど、外に出ざるを得ないっていう話もしているんですが、やっぱりどうしても久山が良いっていうので頑張ってくれて……。実家が久山じゃなくなるって

久山は広いというか隣の家の距離感もちょうどいい

2019年に制定された「久山町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例」では、住宅地ごとに建築物の建て方に関する町独自のルールが設けられています。久山町の最低敷地面積は地区ごとに200㎡から400㎡程度に設定されており、ゆとりある敷地が確保されています。建築物が敷地に占める割合（建ぺい率）は近隣自治体と同程度ですが、条例の対象となるすべての地区で、建物の壁面を敷地境界などから1m以上後退させるよう定められています。そのため久山町では、庭や駐車場、植栽などのための空間が残りやすく、家と家との間にも程よい距離感が

というのが心配で、帰ってくる時はここが良いなって思ってたので、決定してよかったなって。

😊 おめでとうございます！

😊 久山って便利じゃないですか。だからか、町の中のいろんなところを歩いてると、知り合いに遭遇する率というのが結構すごい高いんですか？

😊 高いです。どこに行っても会います。約束しなくても会えます。どこかしらで「やっほ」みたいな・・・。

😊 ちなみに、わたし、レスポの人って言われるぐらい毎日レスポにいます。というのも、子どもの習い事をほとんどレスポでさせているので・・・。

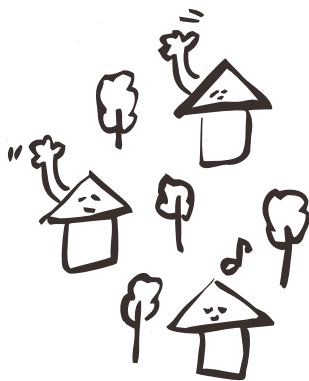
生まれています。土地を細かく分けられ、より多くの住宅を建てることができますが、久山町では、ゆとりある風景や暮らしを残すことも大切にしてきました。

健康診断がすごいよ

久山町では、40歳以上のすべての住民が人間ドック並みの健康診断を毎年無料で受診することができま。1961年から続く健診事業は、九州大学との共同研究によって始まりました。「久山町研究」は、世界的にも高く評価される研究として知られています。健診結果は保健指導や医療につながり、「少しでも気になることがあれば、ちゃんと気

― 遭遇したときには、「やっほ」で終わるんですか？

😊 スーパーとかで会っても「やっほ」くらい。カゴの中身を見られるのは恥ずかしいじゃないですか。それでいうと、幼稚園のお迎えが14時からで、そこから1時間の園庭開放があるので、そこでちょっとお話ししたりすることが多いですね。



にかけてくれる。」そんな安心感から、毎年欠かさず受診するという人も少なくありません。

子どもの習い事をほとんどレスポでさせている

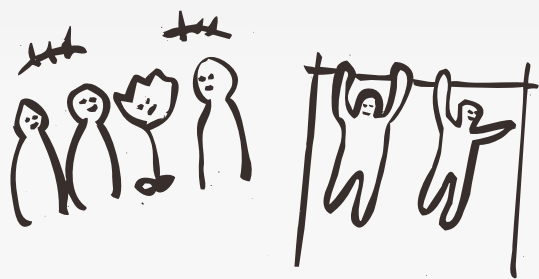
住民の間で「レスポ」と呼ばれているのは、久山町の文化交流センター「レスポアール久山」です。1999年に開館したこの施設には、図書館やホール、研修室などがあり、子ども向けの習い事から大人のサークル活動まで、さまざまな講座が開かれています。特徴的なのは、学ぶ場所であると同時に、教える場所でもあることです。講座の中には住民が講師となって運営されているも



のもあり、趣味や特技、知識、経験が
地域の中で受け継がれています。

幼稚園のお迎えが14時からで、
そこから1時間の園庭開放がある

久山町立けやきの森幼稚園では、降園
後に園庭を1時間開放しています。園
庭では、遊びの続きを楽しむ子どもた
ちを保護者たちが見守っています。そ
の時間は、大人たちがゆっくり会話を
する時間にもなっているようです。



町ぐるみで子どもが育つ

「幼稚園が大人の会話を育む場にもなっているんですね。幼稚園の保育の現場で、地域のつながりを感じたりすることはありますか？」

😊 めちゃくちゃありますよ。子どもたちとお散歩をしてると、いつもおばあちゃんやおじいちゃんが手を振ってくれますし、子どもたちも挨拶をすると必ず返してくれます。「まちたんけん」といって事前にアポを取って、お店に行くこともあるのですが、それもあたたかく迎え入れてくれます。はちみつ屋さんに歩いて行ったり、母の日に花を買いに行ったりもしました。



― 町全体が保育の場なんです。

😊 町内に、虫をつかまえていたり、ネコジャラシをつかった遊びを試したりしている方がいて・・・。

😊 楽しそう。

😊 お散歩しながら出会って、子どもたちも大好きで・・・。
去年から、幼稚園で自然をつかった遊びを教えてくれる
ようになったんです。毎年時期になったらカブトムシも
持ってきてくれて・・・。

😊 ありがたいですね。

― 保護者の立場で、子育てに関する地域のあたたかさを感じ

まちたんけん

「まちたんけん」は、町を歩きながら、人や仕事、自然との出会いを通して、自分たちが暮らす町について学んでいく活動です。久山町では約50年前から、地域に出かけ、人や自然と触れ合うことを教育の一つとして大切にしてきました。子どもたちは、町を歩きながら、季節ごとに変わる草花や生き物、水の流れる音や風の匂いを感じます。また、出会った人と挨拶を交わし、働く姿に触れることで、地域への興味や親しみを深めていきます。町内の保育園や幼稚園、小学校では、それぞれの成長段階に応じた活動に取り組んでいます。久山町の学びの場は、園舎や校舎の中だけではありません。町の自然や地域

これまで来たら大丈夫やろ」って、途中までは一緒に歩いてくれて、あとは一人で帰らせたりとか。朝の登校中に忘れ物に気がついたときは、民生委員の方のお家にランドセル置かせてもらって、うちまで手ぶらで走って帰ってきて、「誰々ちゃん家にランドセルを置かせてもらって」って。もういつの間にか仲良くなって、もう、おじちゃんおばちゃんのことを何とかちゃんって名前でね、呼ばせてもらって……。そういうのは、すごいあったかいなと思います。

😊 安心ですね、本当に。

😊 わたしが小学校のときからずっと立ってくれてましたね、町なかに。そういうおじいちゃんやおばあちゃんの名前もわかつちやう。

地区ごとに決まった民生委員の方々

民生委員は「民生委員・児童委員」のことです。厚生労働大臣から委嘱され、住民と行政とをつなぐ役割を担っています。各行政区の委員が、高齢者や子どもの見守りを行い、住民からの相談に応じています。困りごとを抱える人がいれば声をかけ、必要に応じて行政や福祉サービスへつないでいます。また、久山町では、民生委員だけでなく、交通安全指導員による登下校時の見守りや、道徳推進委員会を中心としたあいさつ運動など、多くの大人たちが子どもたちの目に見える存在として支えています。

😊 親も知ってたりとかして、もう狭いから。だから「どこ
どこの子どもさん、お孫さんね」みたいな感じで、みん
な見守って・・・。で、どこどこの誰々ですって言えば、
わかってくださるっていうのも良さだとは思ってます。
嫌な人もいるかもしれないけど、安心。

😊 お話聞いて思い出したんですけど、わたしの弟は一人で
小学校まで行けなかったので、お母さんが毎朝一緒に学
校まで送っていたんですけど、それが大変だろうという
ことで、民生委員のおじちゃんが途中で代わってくれ
て・・・。

😊 いまだに、そういうのありますからね。ありがたいです。

😊 それが普通ですからね。



つながりに助けられ、 そのつながりを担う

「先ほど、「嫌な人もいるかもしれないけど」という言葉が出ていましたが、それは人とのつながりの濃さに慣れない人もいるということですか？」

😊
そうですね。

「それで言うと、新しく越してきた方が『組合』に入る入らないという話題が全国的にも出ていますが、どうでしょうか？」

組合

久山町で「組合」と呼ばれるのは、行政区の中に設けられた自治会組織の一つです。町内には8つの行政区があり、その中にはさらに「組合」があります。その中にはさらに「組合」があります。回覧板を回し合う単位というところからわかりやすいでしょうか。地域のことを話し合ったり、時には食事会をしたり。清掃活動や資源ごみ回収、広報紙の配布なども、暮らしに身近な活動として担っています。

☺

うちは結構新しいエリアなんで、必ず入らなきゃいけないみたいな決まりはないから、結構さっぱりしてて。それこそ、この幼稚園に転入してきたんですけど、届け出の資料のところに、組合を書くところがあつて、組合って何？って思つて、先生に「組合って何ですか？」って質問した記憶があります。

☺

組合がわかると大体この辺に住んでるなつていうのがちよつとわかるんですよね。でも、そういえば最近組合がわからない人が多いんですよね。

☺

多分、入らない。特に新しい人が入らないですね。

☺

もともと久山が実家だったんで、そちで親が組合に入っていたんですけど、自分は引越して、出たら組合



を変えなきゃいけないじゃないですか。だから悩んでたんですけど、気づいたら旦那が入ってました。相談は受けてたんですけど、ある日「寄り合いあるよ」って言われて・・・もう、入ってた。

😊 組合は、大変は大変ですけどね、地区によるのかな。

😊 うちのところはさっぱりしてて。

😊 自分たちで決められるしね。

😊 その組合は年齢が近い分、仲が良いというか、そういうコミュニティができていますよね。







火を囲むことで

生まれるコミュニティ

😊 旦那が、バーベキュー大好き。毎週したいから、久山が
良いと。それでしてたら、約束してないんですけど、人
が集まってきて、なんかもう毎週のようにしてます。大
体、15 時くらいから庭でビール持ってやりだすから、
毎週やらなくても言うんですけど、でも、まあ、は
い、楽しそうです。子どもたちも、ほんとうに楽しそう
です。

！ 片付けはどうされてますか？



😊 バーベキューの片付けは、旦那が自分で。

😊 うちも、それこそそういう理由もあって久山にしたんですけど……。バーベキューをしていたら、いつの間にか「あれ、うち何人子どもいた？」っていうくらい、子どもたちがたくさん集まっててということがよくあります。

― バーベキューができるっていいですね。

😊 土日の天気の良い時は、どっかしらで必ずやっていますね。



バーベキューができる

久山町では、自宅の庭でバーベキューを楽しむ家を見ることが少なくありません。バーベキューができるかどうかは近所との関係性にもよりますが、家と家との間に程よい距離があること、庭先で家族や友人と過ごせる空間が残っていることは、久山町の暮らしの特徴の一つです。

想いと思い出を宿す、

久山の風景

「わたしは、久山が帰ってくる場所としてあってほしいなっていうのがあって。なんでなのかわかんないんですけど、今、大学に通ってて、だいぶ遠くて、都会って疲れるじゃないですか。夕暮れの18時ぐらいに帰ってくると、田んぼ道を通って見る空がめっちゃきれいで、今日も終わったなっていう。ずっと20年間通ってる川沿いの道も迎え入れてくれてるというホーム感があって…。
みなさんはどうですか？

☺ 子どもたちにとって、そういう感じであってほしいとい



うのはあります。今、だから、その物流倉庫とかが建ってるのも「んっ」て思ったりはするんです、わたしの中で。風景が変わっていったちゃうから。大きなものを建てないでほしいかどうかでいえば、建てないでほしいです。ここの風景が良くて住んでいる人っていると思うんですよ。



風景があんまり変わらないところがやっぱり多いから・・・。変わってるところもあるけど、**小学校の頃から見た風景と全く変わってないところも多いから、そこを通るだけで、あの時ここでこうしたとか、友達と何しよったなっていうのがいまだに思い出せるから、そういうのも良いところかもしれない。**

風景の変わらなさに、久山らしさを感じるということで

小学校の頃から見た景色と全く変わってないところも多い

久山町では、高度経済成長期に宅地開発の波が押し寄せたとき、人口増加や土地利用の自由化を優先するのではなく、山林や農地、清流に囲まれて暮らしていくことを選びました。1969年に町の全域を都市計画区域に定め、翌1970年には町域の97%を市街化調整区

すよね。久山らしさとは、どのようなものでしょうか？

😊 最近思うのは、やっぱり久山って結構、親戚が多くて、まあ昔は「鎖国した町」って言われるぐらいの時期があったんですね。で、そういうのもあって、地域コミュニティが根強いっていうか、深く関わり合ってたのが、今、ちょっとそういうのがどんどん薄れてって……。嫌いな人もいるでしょうけど、自分としては、そういう地域コミュニティが良いところだと思ってたんで、**消防団**にも入って活動したりもしています。

😊 わたしの場合は、もともと地元の人たちがすんなり受け入れてくれたから入れたけど・・・。

😊 外から入る人の方でも組合が嫌っている人もいますよ

域に指定し、法制度を活用しながら無秩序な開発を抑制してきました。当時は、近隣自治体の中で「土地鎖国の町」として知られたほです。とはいえ、時代とともに町並みは変化しています。それでも変わらない山や川の景色にこそ、久山町らしさが見えるのかもしれない。

消防団

久山町の消防団は、江戸時代の「いろいろ四八組」と呼ばれた地域の消防組織をルーツとしています。その後、時代とともに組織が改められ、1948年に消防組組織法が施行されると、現在の消防団制度が発足しました。久山町では、町制施行後の

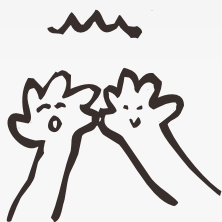
うし・・・。

☺ 「鎖国」っていうか、そういう方針があった時代があったんですよ。

☺ 70年代の小早川町長の時代かなあ。ユニークな方で・・・。
| ユニークというのは、保育の現場でも感じてました？

☺ はい、それはもう。教育に力を入れているなというのを感じていました。あの、わたしは幼稚園に就職したかったですよ。でも、大体、保育業界って大卒が嫌われていたんですよ。でも、久山町の募集は大卒者対象なんです。それで興味を持っていろいろ話を聞いたりしていくと、「うちは教育に力を入れたいから、しっかり勉

1956年に消防団条例が制定され、現在の組織が整えられています。団員数は100名を超え、主に地域住民によって構成されており、仕事や学業と両立しながら活動する団員がほとんどです。日々の訓練の成果を披露する操法大会にも出場しています。火災や風水害などの災害対応はもちろん、地域の防災訓練や火災予防活動など最も身近な防災組織として、町民の安全・安心を支えています。



強をしてきた方を取りたい」っていうことだったんです。
わたしにとってはそこが原点だったりします。

😊

もともと、久原幼稚園も山田幼稚園も地域の方々が全国を巡って調べて「こういう園が良い」っていうことを自分たちで考えてつくったんですよね。こうして、みんなを手をつないで、こういうサイズが良いっていうことまでやっていたそうなんですよ。

園舎も語り草の一つなんですネ。



教育に力を入れていたというのを感じていました

一般的に、教育というと学校教育を思い浮かべる方が多いかもしれません。久山町では、地域全体で人を育てる「社会教育」も大切にされてきました。今年で50周年を迎える久山町の道徳教育も、大事な社会教育の一つです。子どもから大人まで、学ぶことも、教えることも町の中にある。そこに、久山町が大切にしてきた教育の姿が表れています。





久原幼稚園も山田幼稚園も地域の方々が全国を巡って調べて「こういう園が良い」っていうことを自分たちで考えてつくった

1973年9月に開園した久原幼稚園と山田幼稚園は、「西日本一の幼稚園」と称され、1976年には福岡県教育文化功労賞を受賞しました。園舎構想当時の園長や議員、保護者たちは、全国各地の先進的な幼稚園に足を運び、子どもたちにとって本当に良い幼稚園とは何かを自分たちの目で見て考えたそうです。完成した園舎は、園児約30人が手をつないで輪になってもゆったり過ごせるよう、保育室一部屋が9メートル四方になるよう設計されました。芝生の園



庭や自然を生かした遊び場なども取り入れられ、子どもたちが自由に遊び、のびのびと育つ環境を目指しました。受賞に際し、当時の山田幼稚園の園長は、園の誕生を振り返りながら、「二十一世紀を背負って立つこの子たちが、幼い時、多くの人たちに可愛がられ大事に育てられた恩を知り、自分も次の世代の人達のため骨身惜しまず尽くそうと思う心の糧になってくれたら」（幸坂やちよ『花さき山に咲く山田の花々』、未刊行資料、1986）と子どもたちへの願いをつづっています。

なんか好き

― 改めて、みなさんが思う久山らしさについて聞かせてください。

😊 なんだろう、なんかのびのびしたなかでも、しつかりさもあるなっていうのをわたしは感じてて・・・子どもが横断歩道を渡ったときにお辞儀するんですよね。あれ、すごくないですか？車が横断歩道とかで止まってくれたときに、渡った後にみんな後ろ向いてペコって。これまでいろんなとこ住んでたんですけど、初めてそんなことをされてすごい衝撃で・・・。なんか、みんなすごい

子どもの横断歩道を渡った時にお辞儀するんですよね
久山町では、登下校中の子どもたちが横断歩道を渡ったあと、待ってくれた車や見守ってくれる人に向かってお辞儀をする姿をよく見かけます。これは、ありがたいの気持ちを表す所作です。子どもたちがお辞儀をする、車はゆっくりと走り出します。時には、運転手が子どもたちにお辞儀を返したり、手を振ったりする姿も見られます。

るっていうところが良いなって思ってます。

☺
上を見て育ったと思う。僕が小学生の頃に集団登校みたいなのが定期的にあって、近くの上級生たちと一緒に学校に行く。多分、そこで見て学んだんだと思います。

☺
成人式とかでも久山はすごいあったかい。レスポのホールにおさまるし、ちゃんと話を聞いているし、誰が誰だか分かるし。やっぱり、そういうのがすごい好きで、大人になってもやっぱり久山一択だったので、子育てはここでしたいって思うし、今、友達が来ても「久山ほど安全な通学路はないよね」ってめっちゃ言われるんですよ。道路が広かったり、田んぼが多かったり、お年寄りの方がいっぱい立ってくださっていたりとか……。やっぱり、

成人式とかでも久山はすごいあったかい

久山町では、久原小学校と山田小学校を卒業した子どもたちが久山中学校へ進学します。一学年は80人から90人ほど。互いに顔も名前も知っている同級生として三年間を過ごします。成人年齢の引き下げに伴い、現在は「二十歳の式典」として開催されていますが、多くの人にとっては、5年ぶりに同級生や先生方と再会する同窓会でもあります。会場となるのは、レスポアール久山。町長や町議会議員、行政区長をはじめ、当時の担任の先生方も式典に駆けつけ、来賓だけで60名を超えます。保護者はもちろん、幼い頃から成長を見守ってきた人たちが、二十歳という節目と一緒に祝

なんか好きなんですよね、久山。

😊 歩道は広いと思います。

😊 車がね、止まってくれる。

😊 でも、それに慣れてると、若干怖いところもあって、街に出た時は「ここは久山じゃないからね」「車が止まってくれないよ」って言うて連れて行きます。それぐらい多分ここはのんびりというかなんていうか・・・。



います。式典は、中学校時代の思い出を振り返るスライドショーから始まるのが定番となっています。呼名では、一人ずつ名前が呼ばれ、「はい」と返事をして立ち上がります。背筋が伸びるような緊張感と、懐かしい仲間や先生方に囲まれた温かな空気が会場を包みます。式典後には謝恩会も開かれ、二十歳の節目は、共に過ごした時間をみんなで振り返り、喜び合う一日になります。1980年から1993年までは、式典の後に身体測定や血液検査などを行う「成人者体力テスト」が実施されていました。振袖姿が主流になるにつれて終了しましたが、当時の写真には、スーツ姿でエアロバイクをこぐ新成人の姿も残されています。



久山ほど安全な通学路はないよね

久山町では、子どもたちが見通しの良い道や田畑の広がる風景の中を歩いて学校へ向かいます。交通安全指導員や地域の人たちが見守り、毎日同じ道を歩く子どもたちの顔や名前を知っている人も少なくありません。声をかけたり、一緒に歩いたりする姿も見られます。車が横断歩道で止まってくれることも、子どもたちにとっては当たり前のことになっていくようです。



輪への誘い方

ー 組合への入り方って、みなさん、どうでしたか？

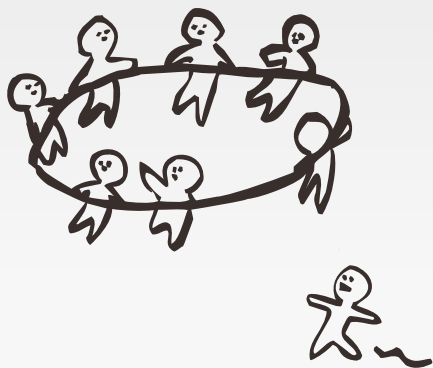
☺ 昔、綱引き大会があったのを知ってます？ガチのやつ。

☺ あれは、ほんとうにスゴいですよ。

☺ みんな、次の週、腰やられてね。

☺ わたし、引っ越してきて早々に出されて。まだ20代だったんで、ただ若いという理由だけで。

☺ よう出られましたね。



😊 毎年出ていました。だからっていうのもあって、組合がど

ういう仕組みかっていうのはわかっていたし、誘われて。

😊 わたしの場合は、「ここの組合長は誰々なので、誰々の

家までこの用紙を持ってきてください」みたいな感じで。でも、その人のお家がどこかわかんないしっていうことで、4年ぐらい、もうなんかよくわかんないしなって。こっち側から行くのにすごいやっぱり勇気が……。でも、慣れてきた頃ぐらいに主人がソフトボール大会に参加して「あれ、入れてくれない？」みたいな流れで入った感じですよ。やっぱりそうやってなじんでくると入りやすいけど、そうじゃないと、どうする？どうする？ってなっちゃう。そうやって、何年も経っている人が周りにも多いです。

綱引き大会があった

久山町では、住民参加の体育行事が社会教育の一つとして位置付けられ、1972年に「久山スポーツクラブ」が発足しました。町民の体力向上とスポーツ精神の育成、住民同士の交流を図り、青少年教育と明るいまちづくりに貢献することを目的としています。かつては、町民運動会をはじめ、町内一周駅伝大会や健康歩こう会など、年間8つの行事が行われていました。その後、駅伝大会に代わって始まったのが綱引き大会でした。行政区ごとに選手を募るため、「若いから出てみない？」と声をかけられ出場してみたものの、本気の綱引きに驚く人も多かったそうです。その後はドッジボール大会になりましたが、「男性のボー

ソフトボール大会に出たきっかけはどのようなものだったのでしょうか？

子ども関連の付き合いで、だんだん顔なじみになってきて、主人は野球をしていた人だったので、「だったらソフトボール大会出てよ」みたいな感じで行って仲良くなってという流れで・・・。

😊 やっぱいいきなり組合っていうよりは、お祭りとかそういう行事ね、ちょこちょこあるから、そういうのに関わってからの方が入りやすいですね。わたし的にはやっぱり入って良かったし、新しく誘って入った方も「ほんとなんか楽しくなった」みたいな方も多いから、そうやって、なんとかできないかなって・・・。なんか、良さでもあり悪さでもあると思うんですよ。久山のこう、グッ

ルが速くて怖い」という声もあり、長くは続きませんでした。最近、モルツクが人気を集めているとか。時代とともに競技は変わっても、住民同士が顔を合わせ、程よく本気になる場は今も受け継がれています。



とした根強さが、新しく入ってこられた方をそういう、
どうする？どうする？っていう気持ちにさせてるところ
があるかもしれない。それをなんかこう、もうちょつと
うまいことできたら良いなと思うんですけどね。誘い
方が難しいよね。

😊 なんかね、うちとかはもともと久山におったけん、今の
新しいところにもすっと入れたし、「わー来たー」って
言ってもらえたけど。でもね、じゃあ新しくここにつて
なると、やっぱね、誘い方ね、難しいよね。

😊 でもまあイベントごとが結構多い町やけん、まあどつか
しらでそういうきっかけは結構あるんじゃないですかね。

😊 うまいことしていききたいですね。





けやきっこの一年 ~小学校へのパスポート~

マラソン大会 3月卒業式 入園式 5月 こいのぼり 6月 いも苗植え 7月 プールランド

12年間の育 費・能力を 校につなぐ

・やり抜く力 尊重 / キュラム (道徳・遊事)

池田町 運動会観 覧



